

国語科「現代文B」授業実践紹介

授業者：岡 宣之

学 年：2年

単元名：働くよろこび「楽に働くこと、楽しく働くこと」

本時のねらい

- ①他者の価値観を理解し、それらを踏まえたうえで自分の考えを説明できる能力、態度を養う。
- ②本文やそれ以外の教材を通して、様々な職種の人々の考えに触れ、将来自分がどのように仕事をしていくのかを想像する。

授業の流れ

- ①教科書本文と新聞教材から三人～五人の社会人の文章を読み、働く姿勢に共通する事柄を考えます。そして、彼らに共通する職業観について自らの意見をメモに残します。(ワークシート)
- ②ワークシートのメモをもとに、ランダムに組んだグループ内で意見を交換し、クラスメイトの考えも理解します。



- ③教材文書とクラスメイトの意見を踏まえたうえで、自らの最終的な考えを400字以内でまとめます。

- ④再びグループを組み、400字作文をもとに自らの考えを発表し、OPPシートを完成させます。

授業のルーブリック

	2	1	0
I 関心・意欲・態度	積極的に自身の将来について考え、発表に向けて意欲的に活動している。	分からないことも他者の意見を参考にしながら、発表もできている。	分からなかったり、書けなかったりする部分をそのままにしている。
II 読む能力	教科書と新聞記事から、他者の職業観を読みとり、それらを踏まえて自らの意見を構築しようとしている。	教科書と新聞記事から、他者の職業観を読みとり、共通点をまとめることができている。	教科書と新聞記事から、他者の職業観を読み取れず、自らの将来についても想像しようとしていない。
III 話す能力	他者の意見を踏まえながら論理的に発表できている。	自分の意見を意欲的に発表できている。	事実だけを述べ、自分の意見が発表できていない。

単元を通して身につけてほしいこと

自らの意見を持つことは大切ですが、それに加え、異なった考えや価値観も踏まえたうえで、もう一度考える習慣を身に付けてほしいと考えています。単元の最初に、「あなたはなんのために働くか」という質問を投げかけ、そこから様々な社会人の在り方、クラスメイトの意見にも触れ、最終的に自分の働く目的を再考してもらうことを狙っていました。また、高校二年生で将来について具体的に想像することは難しいかもしれませんが、インターンシップを終えたタイミングで、少しでも職業観について考えるきっかけを与えたいと思い単元を選択しました。

実践の背景

- 教科書本文だけではなく、社会人の生の声に触れてほしいと考え、話題となった職業人の新聞記事も教材の一つとして使用した。単元を通して押さえたい重要概念があり、それについて考えさせる一つの資料として教科書を使用した。よって、今回は読解をするに深く注力はしなかった。今回は、二年生がインターンシップを経験した後ということもあり、「働くこと」に関して考えるきっかけとしては最適だったと感じる。また、生徒の興味を引くために授業の導入では、昨今話題となっている社会問題（就労時間、賃金、人間関係）などにも触れることを意識した。

授業改善のアプローチ

- 釘職人の白鷹幸伯さんのエッセイは、地道な作業を繰り返す中でこそ仕事の魅力は発見できるという内容だが、現代の高校生には職人気質は馴染みが薄いように感じた。そこで、進路希望調査で一般的に生徒に人気がある職業の実態や、地元の備前焼職人、企業のCM動画等も取り入れ、様々な職種も切り口に本単元に興味を持たせることを意識しながら読解していきました。
- この単元では、「他者の考えを踏まえながら、自分の意見を述べる」という実生活でも肝要な活動を取り入れたので、日頃にも生かして行ってほしいと思います。

単元のヤマ場となる授業場面

単元の構成

第1次（4時間）	第2次（3時間）	第3次（2時間）
単元の初めに「働く目的」について考える。段落ごとに読解を進める。日頃なじみの薄い職種については動画等を用いてイメージを持つ。説明を聞くだけではなく、各人の意見は（匿名で）クラス内で共有する。	新聞記事（ミツカン・クルミド・コーヒー・オウケイウェイヴ・ボランティア）を読み、それぞれに共通する働く姿勢を見つける。それに対する自分に意見を400字以内で述べる。	単元を通して身につけさせたい資質・能力（他者の意見を踏まえたうえで、自らの意見を述べる力）をはかるために、原稿をもとにグループ内で発表する。OPPシートを完成させる。

パフォーマンス課題

あなたは将来、どんな社会人になりたいですか？先輩社会人の考えを踏まえて、理想の社会人像を作りあげよう。そして、クラスメイトに説明してみよう。

- ① 作成した説明文をもとにグループ発表をする。
ルーブリック評価をもとにした相互評価をし合う（20点満点）。

評価

次の3点で今学期の評点とした。

- ①パフォーマンス課題に対する評価（35%）

	A	B	C
I 内容	教科書と新聞記事から、他者の職業観を読みとり、それらを踏まえて自らの意見を構築しようとしている。	教科書と新聞記事から、他者の職業観を読みとり、共通点をまとめることができている。	教科書と新聞記事から、他者の職業観を読み取れず、自らの将来についても想像しようとしていない。
II 話す力	他者の意見を踏まえながら論理的に発表できている。	自分の意見を意欲的に発表できている。	事実だけを述べ、自分の意見が発表できていない。

- ②一枚ポートフォリオによる評価（15%）

- ③定期考査による評価（50%）